

# 同種施設比較分析表



## 同種施設比較分析表

町田市が運営している“施設”の中でも「市民センター」「図書館」といった同種の施設に着目して、新公会計制度で明らかになった情報を有効活用するため、同種施設比較分析表を作成いたしました。

同種施設の所管課は、この比較分析表を分析ツールとして、同種施設を相互に比較・分析しました。この分析で明らかになった知見を活用して、成果の拡大や運営コストの削減を図っていきます。各施設のより詳しい内容は、該当の課別・事業別行政評価シートをご覧ください。

- 同種施設の相互比較にあたっては、行政費用を調整している場合があります。このため、同種施設比較分析表における行政費用・単位あたりコスト分析と、該当の課別・事業別行政評価シートにおける行政費用・単位あたりコスト分析では、金額が異なる場合があります。

### <例>

忠生市民センターと忠生図書館は複合施設ですが、貸借対照表における建物(事業用資産)は、忠生市民センター費に計上されています。このため、建物の減価償却費は忠生市民センター費の行政コスト計算書にのみ計上され、忠生図書館事業の行政コスト計算書には計上されていません。

「図書館」という同種施設を比較分析するにあたっては、忠生図書館の建物に係る減価償却費を面積按分により算定し、加算しています。

## 同種施設比較分析表(図書館)

	中央	さるびあ	鶴川 <sup>※1</sup>	金森 <sup>※1</sup>	忠生 <sup>※2※3</sup>	木曾山崎	堺 <sup>※2</sup>	鶴川駅前 <sup>※2</sup>
基本情報								
該当ページ	138	140	142	144	146	148	150	152
建設年月日	1990年4月16日	1972年5月22日	1972年2月15日	2000年7月4日	2015年2月27日	1976年3月25日	1983年9月25日	2012年8月31日
有形固定資産減価償却率	50.9%	81.8%	—	—	—	45.9%	—	—

行政費用	人件費	366,873	102,693	40,832	66,538	68,519	46,591	57,443	73,857
	物件費	96,879	27,259	15,650	36,139	40,325	16,291	17,454	48,523
	うち委託料	10,110	7,052	2,205	8,669	14,875	2,672	3,991	22,294
	うち光熱水費	18,975	3,547	977	3,241	1,462	1,334	1,116	2,363
	維持補修費	34,790	2,868	68	1,060	0	28	450	4
	補助費等	52,603	32	163	6	9	7	9	39
	減価償却費	32,007	2,253			25,599	3,177	2,408	19,469
	賞与・退職手当引当金繰入額	16,216	18,285	4,291	9,286	2,614	1,304	13,018	3,954
	行政費用合計(千円)	599,368	153,390	61,004	113,029	137,066	67,398	90,782	145,846

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	5,968	1,260	260	1,500	1,266	321	430	1,344
	1㎡あたりコスト(円)	100,430	121,738	234,631	75,353	108,267	209,963	211,120	108,517
	貸出者数(人)	428,516	103,642	69,428	198,736	123,116	79,828	46,328	184,037
	貸出者1人あたりコスト(円)	1,399	1,480	879	569	1,113	844	1,960	792
	開館日数(日)	300	300	300	300	297	300	300	300
	開館1日あたりコスト(円)	1,997,893	511,300	203,347	376,763	461,502	224,660	302,605	486,154
	貸出点数(点)	1,176,006	391,096	226,252	725,427	520,463	261,598	208,929	571,587
	貸出1点あたりコスト(円)	510	392	270	156	263	258	435	255

※1 URから有償で借りて運営している鶴川、東京都から無償で借りている金森については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。有形固定資産減価償却率を空欄にしています。

	忠生	堺	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	53,808	16,032	86,612
複合施設全体面積(㎡)	4,687	2,863	5,979
図書館面積(㎡)	1,266	430	1,344
按分減価償却費(千円)	14,534	2,408	19,469

※3 忠生図書館の減価償却費は、建物減価償却費14,534千円及び重要物品減価償却費11,065千円を合算して25,599千円としています。

### 分析欄

#### ①人件費の特徴について

中央図書館、中規模館(さるびあ・金森・忠生・鶴川駅前)、小規模館(鶴川、木曾山崎、堺)の3グループでそれぞれ人員配置数が異なるため、それに従った人件費を支出しています。中央図書館は他の図書館のバックアップに加え、レファレンス(参考調査)、視覚障がいのある方への対面朗読や録音図書資料、来館困難者への宅配サービス、視聴覚資料等の独自サービスを行っているため、人員を多く配置しています。さるびあ図書館と堺図書館は移動図書館を運営しているため、他の同規模館より人員を多く配置しています。

#### ②施設規模の特徴について

施設運営のため最低限必要な人員を配置しているため、小規模館の1㎡あたりコストが高くなっています。

#### ③貸出者数・貸出点数の特徴について

金森図書館は中規模館としては貸出者数・貸出点数が非常に多いため、単位あたりコストが低くなっています。

#### ④2015年度とのコスト比較

忠生図書館以外では貸出者数と貸出点数が減少したことにより、全般的に貸出関係のコストは上昇しています。図書館利用者の拡大を図る必要があります。中央図書館の維持補修費、さるびあ図書館と鶴川駅前図書館の賞与・退職手当引当金繰入額、金森図書館と堺図書館の人件費の増加が、各館のコスト全般の上昇の主要因となっています。逆に忠生図書館と木曾山崎図書館の人件費及び賞与・退職手当引当金繰入額の減少が、両館のコスト全般の下降の主要因となっています。

## 同種施設比較分析表(市民センター)

		忠生 <sup>※1</sup>	鶴川	南	なるせ駅前	堺 <sup>※1</sup>	小山
基本情報	該当ページ	338	340	344	348	350	352
	建設年月日	2015年2月27日	1985年10月15日	1987年2月2日	1996年3月19日	1983年3月1日	1995年1月25日
	有形固定資産減価償却率	8.7%	35.8%	59.5%	42.2%	68.2%	44.1%
行政費用	人件費	89,023	117,646	74,707	100,472	63,199	59,101
	物件費	37,445	60,675	24,367	18,406	23,519	23,282
	うち委託料	28,593	9,383	14,174	12,055	15,215	14,481
	うち光熱水費	4,122	2,202	6,157	5,106	5,384	7,305
	維持補修費	1,586	114	3,509	1,111	2,173	8,160
	補助費等	0	0	0	0	0	0
	減価償却費	35,084	13,260	12,960	18,216	11,615	31,105
	賞与・退職手当引当金繰入額	11,873	19,711	9,098	14,129	2,724	2,481
	行政費用合計(千円)	175,011	211,406	124,641	152,334	103,230	124,129
単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	3,056	2,610	2,117	2,077	2,074	2,788
	1㎡あたりコスト(円)	57,275	80,999	58,868	73,357	49,766	44,527
	利用総人数(人) <sup>※2</sup>	100,125	27,031	68,162	73,834	61,280	66,267
	利用者1人あたりコスト(円)	855	3,200	1,055	612	644	1,057
	開館日数(日)	359	301	359	359	359	359
	開館1日あたりコスト(円)	487,495	702,346	347,189	424,329	287,548	345,763

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	忠生	堺
建物減価償却費(千円)	53,808	16,032
複合施設全体面積(㎡)	4,687	2,863
市民センター面積(㎡)	3,056	2,074
按分減価償却費(千円)	35,084	11,615

※2 ホール・会議室等の施設利用

### 分析欄

#### ①行政費用の特徴について

鶴川の物件費が高いのは、施設の大規模改修によって仮設庁舎賃貸借料が発生したためです。鶴川の委託料及び光熱水費が低いのは、仮設庁舎での業務期間中の建物総合管理委託、電気料金、ガス料金等が減少したためです。

忠生の委託料が高いのは、施設設備が他施設と比べて充実していることもあり、設備保守点検費用・総合管理委託費用が多額になっているためです。

忠生の光熱水費が鶴川を除く他施設に比べて低くなっているのは、建替えによりLED照明の導入等、省エネルギー機器への更新が図られているためです。

維持補修費について、各市民センターで差がありますが、これは比較的大規模な維持補修工事实施の年度にあたっているか否かの違いであり、通年の維持補修費に大きな開きはありません。

#### ②利用者1人あたりコスト・開館1日あたりコストの特徴について

鶴川の利用者1人あたりコスト及び開館1日あたりコストが高いのは、大規模改修により4月から10月まで施設貸出しを休止したため、施設の利用総人数が減少したことによるものです。

## 同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

		成瀬	木曾森野 <sup>※1</sup>	三輪	つくし野
基本情報	該当ページ	308	310	312	314
	建設年月日	1987年12月16日 2016年5月20日	—	2002年3月28日	1982年8月1日
	有形固定資産減価償却率	14.5%	—	31.4%	41.6%
行政費用	人件費	8,757	5,283	6,916	5,354
	物件費	17,323	12,647	14,724	12,631
	うち委託料	11,066	9,150	9,022	8,915
	うち光熱水費	4,334	2,894	4,937	3,082
	維持補修費	566	56	807	359
	補助費等	14	0	0	0
	減価償却費	6,098		6,191	9,687
	賞与・退職手当引当金繰入額	180	29	98	31
	行政費用合計(千円)	32,938	18,015	28,736	28,062
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	1,850	1,000	1,488	1,003
	1m <sup>2</sup> あたりコスト(円)	17,804	18,015	19,312	27,978
	利用総人数(人)	48,613	39,300	36,557	56,418
	利用者1人あたりコスト(円)	678	458	786	497
	開館日数(日)	259	347	347	347
	開館1日あたりコスト(円)	127,174	51,916	82,813	80,870

※1 東京都から無償で借りて運営している木曾森野については、減価償却費を計上していません。

### 分析欄

#### ①開館1日あたりコストの特徴について

成瀬は、4月から6月まで建替工事により閉館中であったため、開館日数が少なくなっており、開館1日あたりコストが高くなっています。

木曾森野は、貸借物件であるため減価償却コストがなく、他に比べて開館1日あたりコストが低くなっていますが、三輪、つくし野については大きな差はありません。

## 同種施設比較分析表(連絡所)

		町田駅前 <sup>※1</sup>	木曽山崎 <sup>※2</sup>	玉川学園駅前	鶴川駅前 <sup>※2</sup>	南町田駅前 <sup>※1</sup>
基本情報	該当ページ	332	334	336	342	346
	建設年月日	1998年4月7日	1982年8月17日	1974年5月1日	2012年9月29日	2009年11月18日
	有形固定資産減価償却率	—	58.0%	58.6%	—	—

行政費用	人件費	42,893	29,740	21,833	29,905	31,733
	物件費	17,385	20,203	10,726	1,308	19,076
	うち委託料	30	12,456	8,014	929	2,706
	うち光熱水費	555	6,690	1,964	169	519
	維持補修費	0	5,851	235	0	0
	補助費等	0	0	0	1	25,990
	減価償却費		11,944	4,657	1,027	
	賞与・退職手当引当金繰入額	10,377	2,552	2,818	3,732	6,412
	行政費用合計(千円)	70,655	70,290	40,269	35,973	83,211

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	109	1,611	595	67	178
	1㎡あたりコスト(円)	648,211	43,632	67,679	536,905	467,478
	利用総人数(人) <sup>※3</sup>	78,584	17,863	27,278	43,506	44,835
	利用者1人あたりコスト(円)	899	1,818	736	827	1,339
	開館日数(日)	340	359	359	319	330
	開館1日あたりコスト(円)	207,809	195,795	112,170	112,767	252,155

※1 町田駅前、南町田駅前は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	木曽山崎	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	15,607	91,613
複合施設全体面積(㎡)	2,105	5,979
連絡所面積(㎡)	1,611	67
按分減価償却費(千円)	11,944	1,027

※3 行政窓口の利用のみ。また、町田駅前、木曽山崎、玉川学園駅前、鶴川駅前については、行政窓口での取扱件数。

### 分析欄

#### ①各施設の特徴について

町田駅前、鶴川駅前は行政窓口業務を行い、木曽山崎、玉川学園駅前、南町田駅前は行政窓口業務と施設貸出業務を行っています。

#### ②人件費の特徴について

町田駅前は利用総人数が多く、他施設よりも多く人員を配置しているため、人件費が高くなっています。

#### ③利用総人数の特徴について

町田駅前の利用総人数が多いのは、他駅に比べ乗降者数が多い、小田急線町田駅前の小田急百貨店にあるという、地理的要素が大きいと推測されます。

#### ④利用者一人あたりコストの特徴について

木曽山崎は外壁他改修工事により維持補修費が増加、南町田駅前は移転に伴う改修工事により補助費等が増加し、行政費用が増加しました。木曽山崎と南町田駅前が他施設と比べて利用者一人あたりコストが高いのは、短期的に上記の行政費用が増加した影響があります。

## 同種施設比較分析表(ふれあい館)

	もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 <sup>※1</sup> (町田)	くぬぎ館 <sup>※1</sup> (木曾山崎)	けやき館 <sup>※1</sup> (塚)	桜館 <sup>※2</sup> (小山田)	
基本情報	該当ページ	204	206	208	210	212	214
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	65.2%	52.6%	—	—	—	46.0%
行政費用	人件費	17,144	16,940	21,889	17,265	17,039	1,728
	物件費	8,368	9,508	6,817	6,219	3,917	32,996
	うち委託料	4,578	5,377	3,898	3,838	2,544	32,497
	うち光熱水費	2,847	3,447	2,541	2,043	937	0
	指定管理委託料 うち光熱水費 <sup>※3</sup>						6,733
	指定管理委託料 うち人件費 <sup>※3</sup>						15,696
	維持補修費	713	1,697	909	160	453	298
	補助費等	228	300	275	110	160	0
	減価償却費	2,422	4,838	4,391	3,659	2,012	11,654
	賞与・退職手当引当金繰入額	0	0	0	0	0	585
	行政費用合計(千円)	28,875	33,283	34,281	27,413	23,581	47,261
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	581	720	826	493	359	1,074
	1m <sup>2</sup> あたりコスト(円)	49,738	46,259	41,514	55,554	65,613	44,017
	利用総人数(人)	26,102	34,664	32,314	55,124	16,992	31,685
	利用者1人あたりコスト(円)	1,106	960	1,061	497	1,388	1,492
	開館日数(日)	295	292	294	294	295	269
開館1日あたりコスト(円)	97,881	113,983	116,600	93,242	79,937	175,691	

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	23,549	15,607	16,032	30,649
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(m <sup>2</sup> )	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,391	3,659	2,012	11,654

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出

※3 受託法人の決算資料から転記

### 分析欄

①人件費(指定管理委託料のうち人件費)の特徴について  
直営5館の平均と比較すると、指定管理者制度を導入している桜館は約10分の1程度に抑えられていますが、指定管理委託料のうち人件費を含めると同程度になります。

### ②利用総人数の特徴について

くぬぎ館が他館と比べ多くなっています。山崎団地等の高齢者が多く居住している大規模な団地に隣接している館ほど、利用総人数が多い傾向があります。全館共通して利用総人数は減少傾向にあります。現況の利用者は固定しており、年代別では後期高齢者が中心で、年々高齢化と体調変化、施設入所に伴い、来館できなくなった方が増えていると考えられます。また、新規の利用登録者は少ない実情にあります。以上のことにより、ふれあい館全体で利用総人数は減少傾向にあり、それに伴い利用者1人あたりのコストは増加していく見込みです。今後は、現利用者数の維持と新規獲得を行うと同時に、効率的・効果的な管理運営体制を検討し、ふれあい館事業の管理運営コストを削減を図る必要があります。

### ③物件費の特徴について

直営5館のうち、建物内でふれあい館事業のみ行う単独館より、その他の事業を行う複合館の方が低い傾向にあります。

### ④減価償却費の特徴について

桜館において、他の5館と比較すると面積が広いため、減価償却費が高くなっています。

### ⑤開館日数の特徴について

桜館は2017年3月6日より休館したため、他館と比べ開館日数が少なくなっています。